

認証基盤グループについて

平成22年11月10日

学術情報基盤オープンフォーラム2010

認証基盤グループ

▶ 活度内容

- ▶ 認証作業部会フェデレーションタスクフォースにおける、学認の啓蒙・普及、技術開発を軸とし、コミュニティ連携・人材育成グループ、最先端サービスグループの活動をサポートする。

▶ メンバー

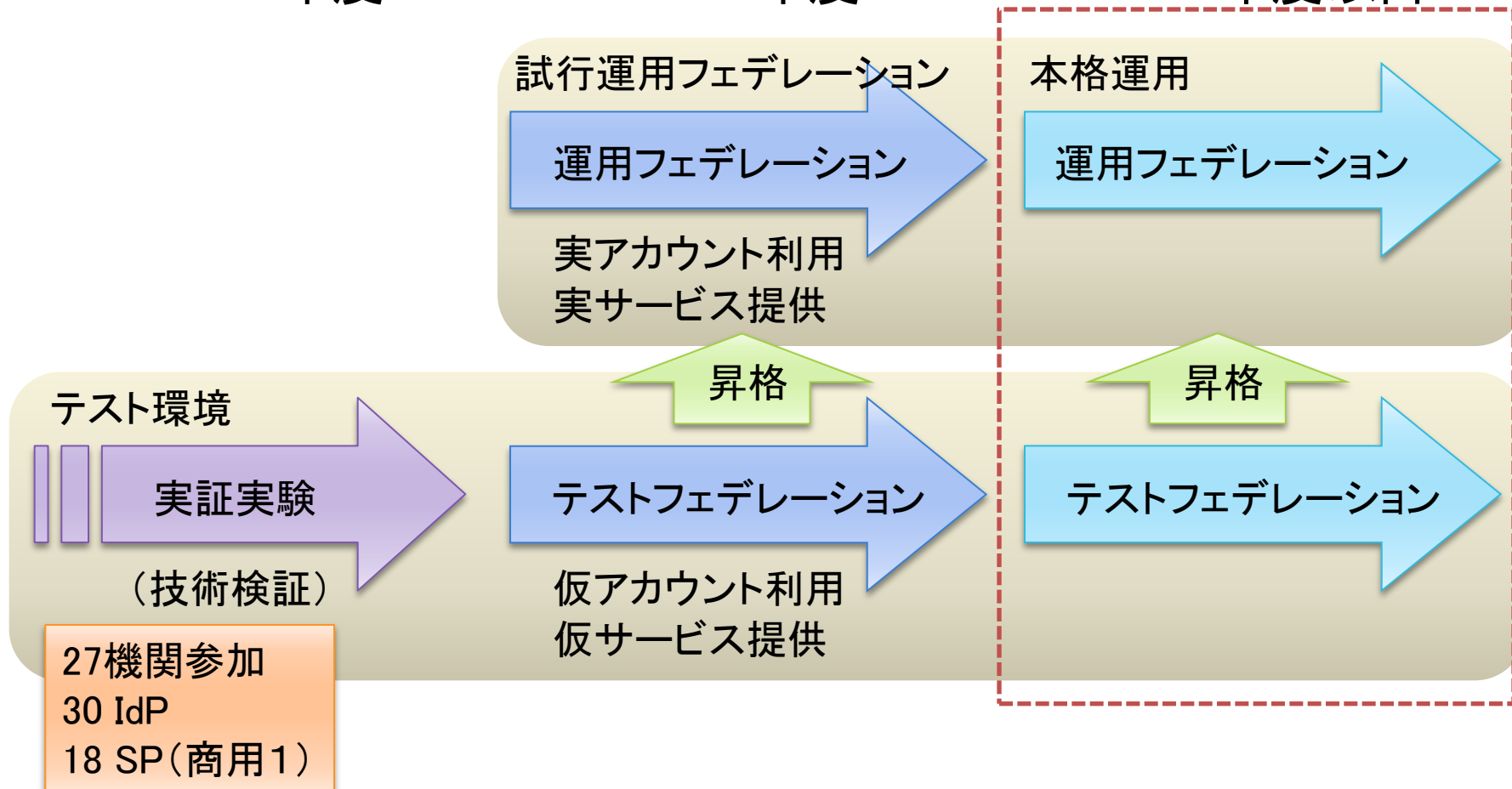
- ▶ 主査 岡部寿男 (京都大学)
- ▶ 幹事 山地一禎 (国立情報学研究所)
- ▶ 高井昌彰 (北海道大学)
- ▶ 佐藤周行 (東京大学)
- ▶ 曾根原登 (国立情報学研究所)
- ▶ 中村基典 (国立情報学研究所)

学認のこれまでの経緯

2008年度

2009年度

2010年度以降



参加のメリット

▶ ID管理側 (IdP) メリット

- ▶ 大学など情報セキュリティ準拠, 個人情報保護などへの対応
- ▶ ID管理, ユーザサポート業務、セキュリティ教育の集約によるコスト削減
- ▶ ID/PW送受信時の(サービスに依存しない)セキュリティ水準の向上
- ▶ シームレス(学内外)なアクセス管理システム統合

▶ サービス側 (SP) メリット

- ▶ 学術分野へのサービスのビジビリティの向上
- ▶ 素早いスタートアップ
- ▶ ID管理からの解放, ユーザサポート業務の軽減
- ▶ ライセンス条件にそった適正な利用

▶ サービス利用者メリット

- ▶ 多数のID/パスワード管理からの解放
- ▶ IPアドレスに依存しないアクセス
- ▶ 個人情報の送信制御、匿名アクセス(所属機関として認証)
- ▶ SSOによる利便性向上、マッシュアップによるサービス連携への期待

運用フェデレーション参加IdP

(10月18日現在)

- ▶ 国立情報学研究所
- ▶ 名古屋大学
- ▶ 山形大学
- ▶ 千葉大学
- ▶ 京都大学
- ▶ 広島大学
- ▶ 金沢大学
- ▶ 北海道大学
- ▶ 筑波大学
- ▶ 佐賀大学
- ▶ 山口大学
- ▶ 成城大学
- ▶ 東邦大学
- ▶ 三重大学
- ▶ 日本大学 (参加順)

準備中機関

- ▶ 九州大学
- ▶ 東京農工大学

総ID数 = 25万ID

テストフェデレーション参加機関

旭川医科大学, 東北大学, 福島大学, 高エネルギー加速器研究機構, 筑波技術大学, 東邦大学, 東京工業大学, お茶の水女子大学, 産業技術大学院大学, 慶應義塾大学, 愛知県立大学, 鈴鹿工業高等専門学校, 三重大学, 京都産業大学, 大阪大学, 徳島大学, 愛媛大学, 岡山大学, 広島工業大学, 熊本大学

参加検討中機関 (by オープンフォーラムアンケート)

姫路獨協大学, 静岡大学, 中部大学, 福井大学, 神戸大学, 東京学芸大学, 九州工業大学, 京都女子大学, 信州大学, 岩手大学, 浜松医科大学, 東京都医学研究機構, 宮崎大学, 南山大学, 岐阜大学, 鹿屋体育大学, 京都工芸繊維大学, 京都府立大学, 高知大学, 茨城大学, 同志社大学, 室蘭工業大学, 金城学院大学, 福井県立大学, 東京農工大学, 北見工業大学, 東京都市大学, 北九州工業高等専門学校, 富山大学, 島根大学, 大阪教育大学

現時点で利用可能なSP

(10月18日現在)

- ▶ Science Direct / SCOPUS (Elsevier)
 - ▶ SpringerLink (Springer)
 - ▶ Web of Knowledge / EndNote (Thomson Reuters)
 - ▶ OvidSP (Ovid)
 - ▶ RefWorks (ProQuest)
 - ▶ Pathology Images (Atlases)
 - ▶ DreamSpark (Microsoft)
 - ▶ ファイル送信サービス(金沢大学)
 - ▶ IMCデータリポジトリ(金沢大学)
 - ▶ CiNii (NII)
 - ▶ FaMCUs (テレビ会議多地点接続)サービス (NII)
 - ▶ Eduroam-Shib(eduroam用アカウント発行)サービス(京大&NII)
 - ▶ Fshare(大容量ファイル交換)サービス(NII)
 - ▶ 科学技術の学術情報共有のための双方向コミュニケーションサービス (山形大学)
 - ▶ SecurityLearningシステム(NII)
 - ▶ WebELS eLearningシステム(NII)
- 接続中
- ▶ PierOnline
 - ▶ Serials Solutions
 - ▶ EBSCO

山形大学の学術認証フェデレーションの取り組み

強固なセキュリティ
(個人情報など)

業務系システム

成績・履修
システム

会計システム

研究者情報
システム

業務系認証システム

セキュリティポリシー
ガイドライン

業務情報の安全
な管理システム

国立情報学研究所-UPKI
研究者間コミュニティサービス

eduroam

GakuNin

山形大学学術認証フェデレーション

Radiusプロキシ

シボレス認証

LDAP
プロキシ

Active
Directory

3キャンパス
5学部
(運用ドメイン)

Active
Directory

米沢キャンパス
工学部
(試験運用ドメイン)

学術系認証基盤

(教育研究系サービス、全学生が利用可)

コンテンツ系

図書館との連携

CiNii, Springerlink,
ScienceDirect,
Web of Knowledge が
シボレス認証で利用可
⇒ 140人(運用後)

研究開発

SPの開発

OIDの設計

研究コミュニティ

CA

相反

教育・研究等をシームレ
スに展開可能な環境

高度な認証連携を
目指した研究開発

GakuNinと金沢大学統合認証基盤

GakuNin

➤ 2つのSPを提供中

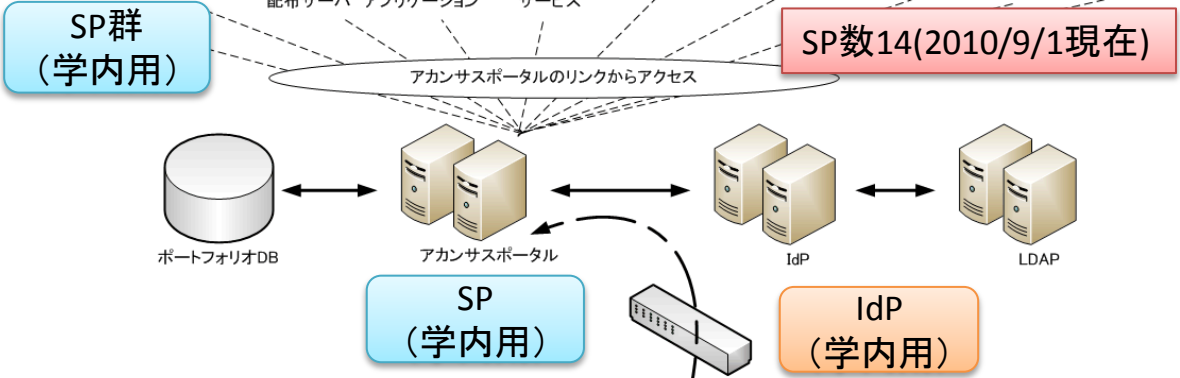
◆ファイル送信サービス(GakuNin用)



◆非文献コンテンツ公開サービス(GakuNin用)



金沢大学統合認証基盤 (Shibboleth)



SP数14(2010/9/1現在)

IdP (学内用)

※GakuNin用は別に用意

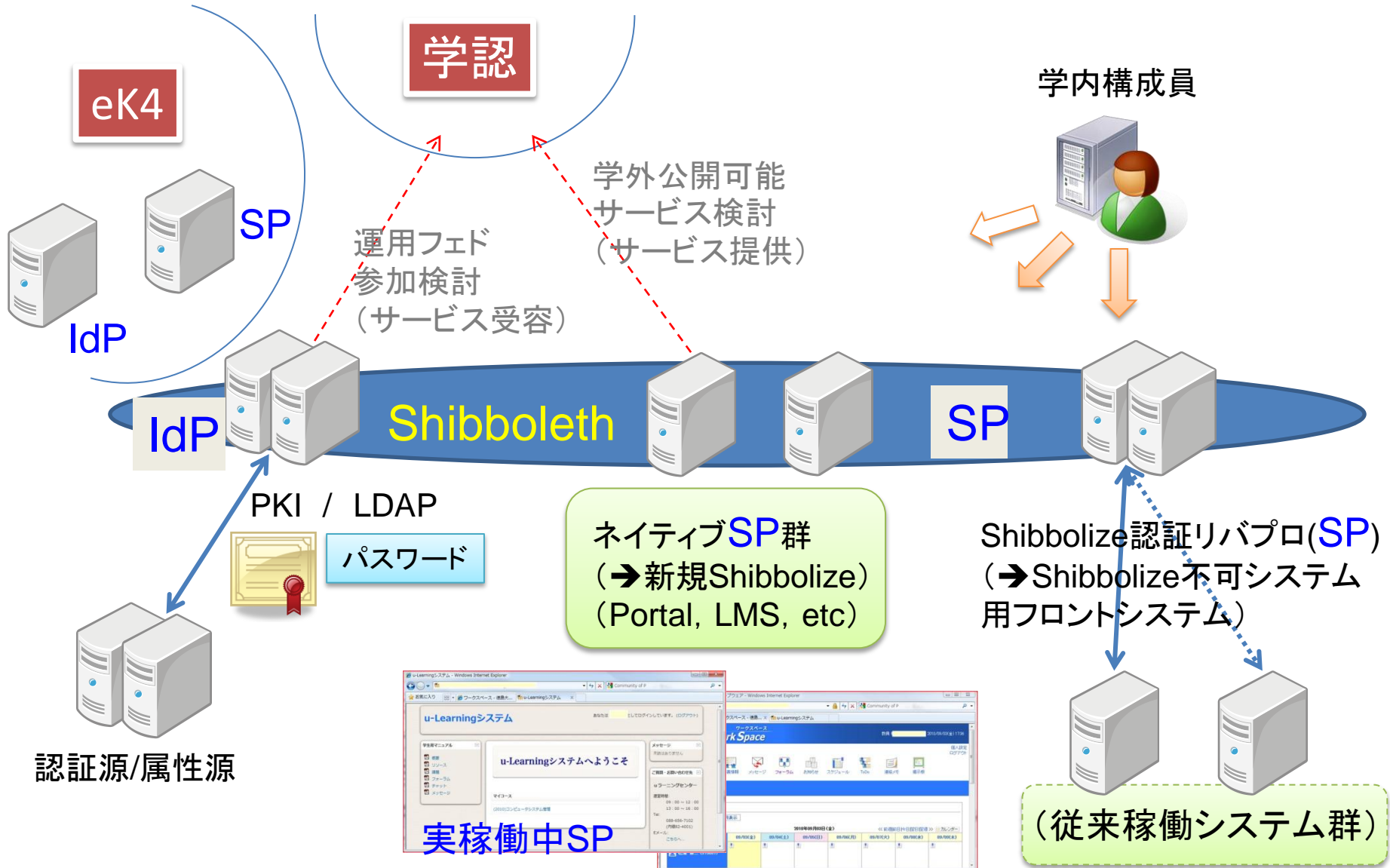
認証数14,460/day(2010/4)

ネットワークID
 在籍者(教職員・学生)のみ
 学内ネットワーク接続目的
 自己申請

金沢大学ID
 生涯ID
 個人情報・業務目的
 ランダムに発行

異なる利用範囲により、現在は適したIDを使い分け
 将来的には両IDの融合化を検討中

徳島大学における事例紹介



佐賀大学におけるシングルサインオンに関する取り組み

シングルサインオン対応Opengate

● Opengateとは、佐賀大学において開発・運用を行っているネットワーク利用者認証システムです。持ち込みPCや公開端末のネットワーク利用認証を行い、ネットワークのサービスを利用者に提供します。佐賀大学の構成員約一万人の教職員や学生の他に、学外者の一時利用も可能です。

●このOpengateを、Shibbolethによるシングルサインオン認証に対応させ、平成22年3月より全学で運用を開始しました。

●各種情報システムもシングルサインオン(Shibboleth)に対応させたことで、再認証なしで利用できるようになりました(図1)。

一度のOpengateの認証で
いろいろなサービスを利用可能

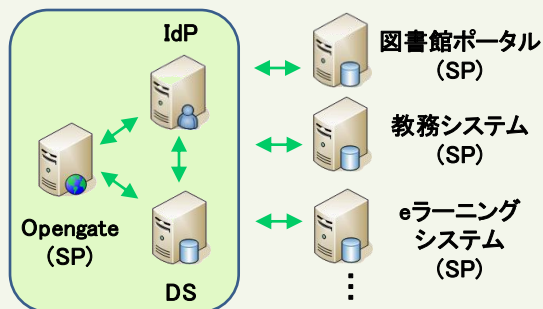


図1: Opengateと連携したシングルサインオンによるサービス提供

●新たなOpengateは、シングルサインオン認証後にShibbolethより得られる利用者の属性情報をもとにして、任意のWebページを表示することが可能です。

●このWebページを、学内で運用する情報システムのポータルサイトとすることで、各情報システムの利用が可能になります。

シングルサインオン対応サービス

●佐賀大学では、連携する情報システムの中で、現在、以下の情報システムがシングルサインオン認証で利用可能です。

- ◆ 総合情報基盤センターポータル(図2)
- ◆ 図書館ポータル / 図書館蔵書検索
- ◆ e-Learning システム
- ◆ 教職員グループウェア
- ◆ 利用者情報確認・変更サービス(図3)
- ◆ 研究業績データベース / 評価基礎情報データシステム
- ◆ 教務システム / 教務ポータル(図4)



図2: 基盤センターポータル



図3: 利用者情報確認
変更サービス

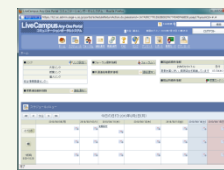


図4: 教務ポータル

「学認(Gakunin)」との連携

●佐賀大学では、学術認証フェデレーション「学認」に参加することで、電子ジャーナルであるSpringerや、CiNiiなどの学外サービスを、シングルサインオンで利用することが可能となっています。

●Opengateも「学認」に参加している組織の方であれば、自大学のIdPで認証することで、佐賀大学でのインターネットを利用することが可能です。佐賀大学にお越しの際は、是非ご利用ください。



連絡先: opengate@ml.cc.saga-u.ac.jp



国立大学法人 SAGA UNIVERSITY
佐賀大学





GakuNin 本年度ロードマップ

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
		<ul style="list-style-type: none">● TFメンバー設置 & 権限委譲● 利用規約改定● システム運用基準V1.1公開● Gakunin本格運用開始	<ul style="list-style-type: none">● Gakuninロゴ確定	<ul style="list-style-type: none">● IdP, SPインストール研修(大学向け)	<ul style="list-style-type: none">● IEEE SAINT 2010 GakuNinブース出展● e-Learning World 2010 GakuNinブース出展	<ul style="list-style-type: none">● 認証作業部会+TF会議	<ul style="list-style-type: none">● 情報系センター研究交流・連絡会議● IdP, SPインストール研修(企業向け)	<ul style="list-style-type: none">● TOPICネットワーク担当職員研修会● IdP, SPインストール研修(企業向け)	<ul style="list-style-type: none">● Internet2 2010 Fall Meeting 出展	<ul style="list-style-type: none">● IdP, SPインストール研修(大学向け)● 図書館総合展● SINET4&学認説明会● 情報処理教育研究集会	<ul style="list-style-type: none">● IdP, SPインストール研修(企業向け、大学向け)	<ul style="list-style-type: none">● シンポジウム	

昨年度説明会

日時	名称	会場
8月5日	UPKI-Fed試行運用参加説明会	NII
9月1～4日	情報処理軽井沢セミナー	国際高等セミナーハウス
9月28日	TOPICネットワーク担当職員	秋保温泉
10月22日	研修会中四国地区大学図書館研究集会	高知会館
10月27日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	金沢大学
10月29日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	北海道大学
11月18日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	名古屋大学
11月19日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	キャンパスプラザ京都
11月27日	第26回ITRC研究会	唐津
11月27日	東京農工大総合情報メディアセンターフォーラム	東京農工大学
12月 3日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	九州大学
12月 4日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	広島大学
12月 8日	学術認証フェデレーション及びSINET説明会	東京大学
2月 6日	JGN2plus 四国セミナー	徳島大学
3月 8日	ShibbolethとInCommonに関する講演会	NII
3月12日	UPKIシンポジウム2010	一橋記念講堂

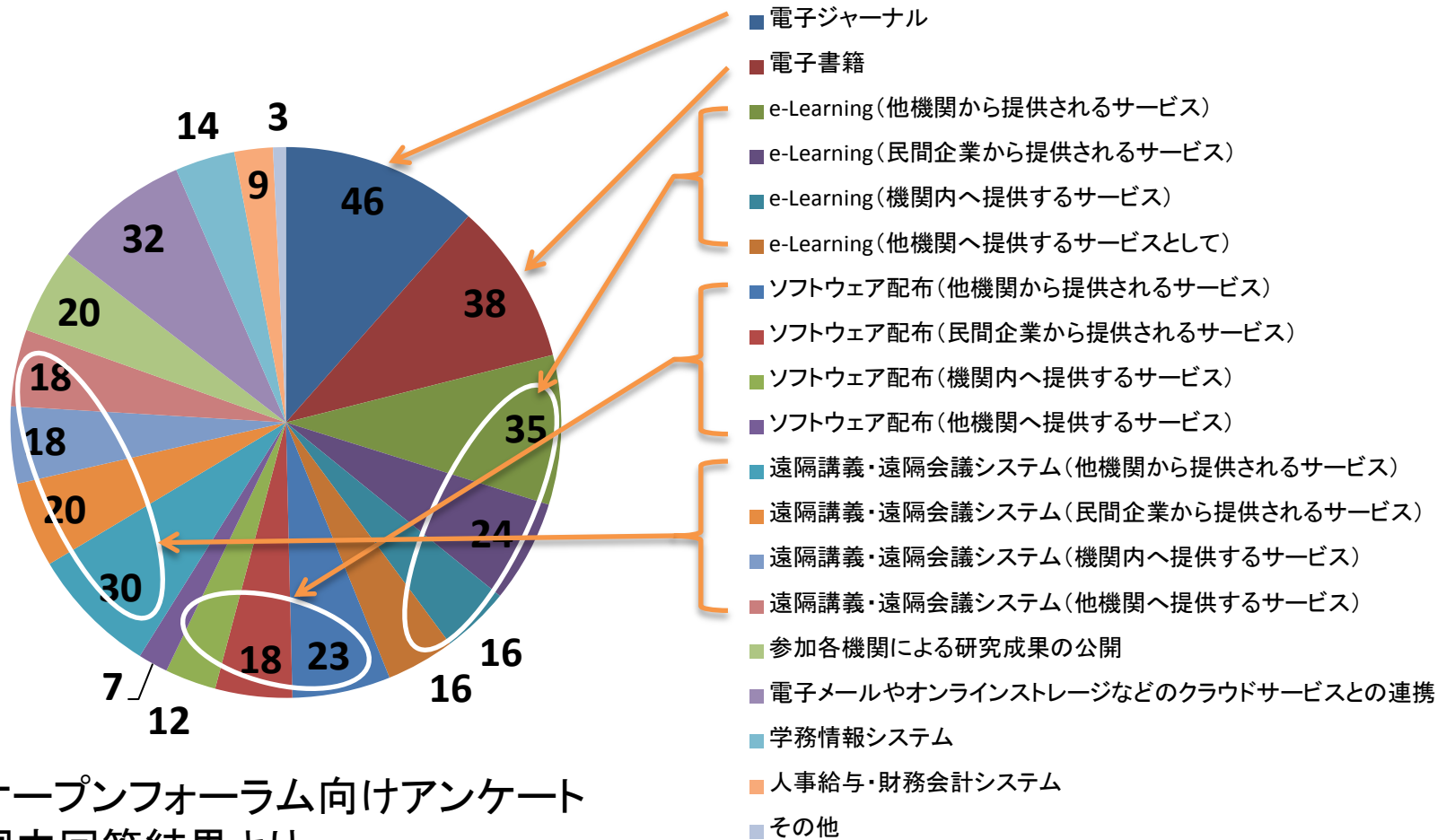
本年度の説明会等の活動

日時	名称	会場
5月20日	ITRC研究会 GakuNin現状と参加説明	NICT
6月3, 4日	NIIオープンハウス GakuNinブース出展	NII
6月29日, 7月02日	Sunmedia学術情報ソリューションセミナー GakuNin説明	大阪、六本木
7月7, 8日	シボレスIdP, SP研修会	NII
7月15日	第7回国立大学法人情報系センター協議会	海洋大学
7月19日-	IEEE SAINT 2010 GakuNinブース出展	ソウル
7月28日	e-Learning World 2010 GakuNinブース出展	東京ビックサイト
9月09日	第5回情報系センター研究交流・連絡会議	和歌山
9月16, 17日	シボレスIdP, SP研修会	NII
9月27, 28日	TOPICネットワーク担当職員研修会	岩手
10月7, 9日	シボレスIdP, SP研修会	NII
11月01日-	Internet2 2010 Fall Meeting 出展	アトランタ
11月15, 16日	シボレスIdP, SP研修会	NII (募集中)
11月10日	オープンフォーラム	NII
11月24日-	図書館総合展	パシフィコ横浜
11月~12月	SINET4&学認説明会	札幌, 東京, 名古屋, 京都, 福岡
12月10日	情報処理学会CLE研究会(情報処理教育研究集会)	京都
1月	シボレスIdP, SP研修会	NII (募集中)
3月7日	UPKIシンポジウム	NII

本年度前半出展ブース



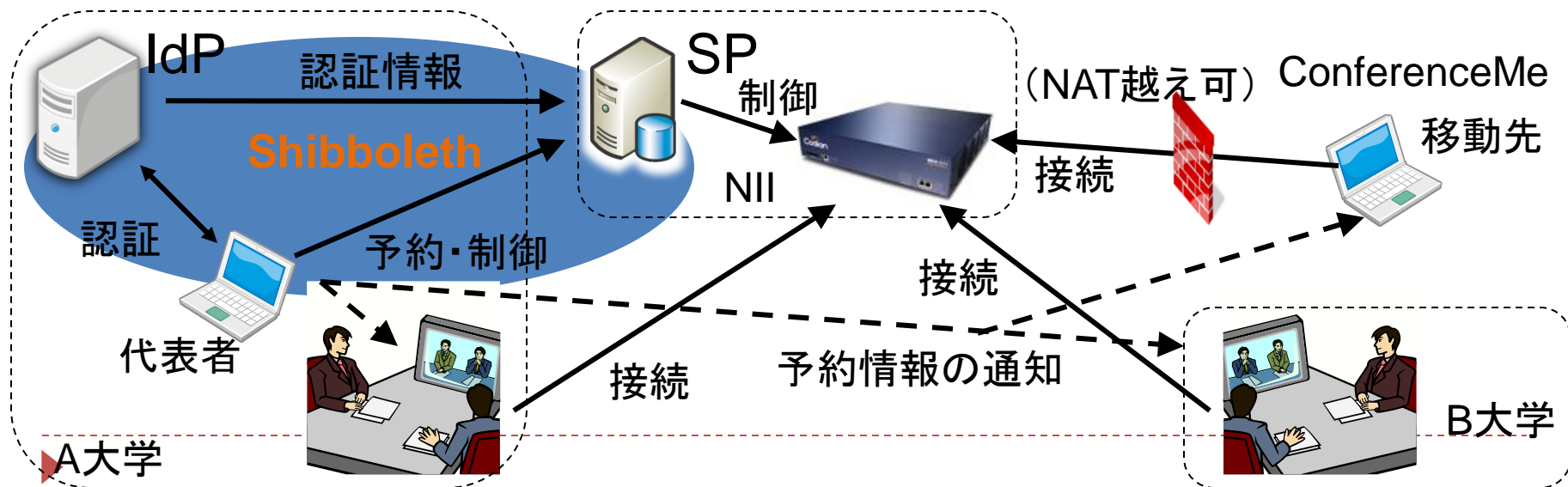
学術認証フェデレーションに対し、今後の充実を期待するサービスなどをお答え下さい。(複数回答可)



オープンフォーラム向けアンケート
国立回答結果より

シボレスを用いた テレビ会議用MCU予約・制御システム

- ▶ 2種類のMCUを提供
 - ▶ Tandberg Codian MCU 4505 (12地点)
 - ▶ Polycom RMX 2000 (20 ports)
- ▶ シボレス化の要件
 - ▶ シボレス認証できる**教職員等**のみ予約・制御が可能
 - ▶ 学生にも権限委譲が可能
 - ▶ テレビ会議実施時は認証不要(アクセスコード等利用)



本年度の取り組み+α

▶ フェデレーション

- ▶ ポリシーを遵守し信頼・接続しあえるIdPとSPの集合



▶ 大学への展開

- ▶ 従来からのNIIチャネルを活用
- ▶ オープンフォーラムなどを通じて広報普及・情報交換
- ▶ 基盤センターや図書館との協調的な取り組み
 - ▶ 様々な会合等の機会を活用した広報

▶ 企業への情報展開, 企業間の情報交換は？

- ▶ 情報サービス連携コンソーシアム

情報サービス連携コンソーシアム(2010年8月発足)

- ▶ 「**グローバル ICT 基盤の進展**」を踏まえた、新たな国際「産学」連携の仕組みの構築
- ▶ 大学の「**IdM Identity managementの進展**」を前提とした「産学連携による情報サービス連携」体制の構築
- ▶ 多様な業界を横断した情報サービス連携の「**ID属性連携 (i-Japan)**」基盤構築への貢献

